

開講年度・学期	2018 年度・前期	授業形態	演習
科目名	専門演習（ドイツ法特別1）	科目ナンバー	JASEM3304
英語表記	Seminar on German Law 1	担当教員	守矢 健一
単位数	2		
科目の主題			
法学政治学の基礎的諸問題（その13）			
授業の到達目標			
法と政治の成立のおよそ基礎をなす、言葉に対する感度を高める。			
授業内容・授業計画			
<p>Edmund Husserl (1859-1938), Die Krisis der europäischen Wissenschaften und die transzendente Phänomenologie（未完のまま、著者は死ぬ。翻訳としてフッサール著、細谷・木田訳『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』が中公文庫から出ている）および E.Husserl, Cartesianische Meditationen,（これも公表は没後。なお、翻訳が『デカルト的省察』というタイトルで、岩波文庫および中公クラシックスから出ている）を精読し、討論する。そのことを通じて、近現代における学問的営為の意義を、歴史的具体的に考察する。学問的営為の意義の考察は、当然ながら、学問的営為を圍繞する法的政治的諸条件、社会構造、歴史とも連動するから、政治学や法学の原理的問題についても省察を及ぼさざるを得ないだろう。</p> <p>担当教員は言うまでもなくドイツ語の原典を基礎とする。が、邦語訳も存在するから演習参加者はそれを精読してくれてもよい。いたずらに先を急がず、熟読し、討論することに主眼がある。</p> <p>余力があれば、Husserl と格闘した、Luhmann や Blumenberg の著作にも（翻訳の存在する限り）手を伸ばしてみたい（但しそれは、できるとしても後期に回されることとなるだろう）。</p>			
事前・事後学習の内容			
事前にテキストを入念に読むこと。事後にも、テキストを入念に読み直すこと。			
評価方法			
参加者の準備の入念さの度合い、討論における立論の緻密さ、大胆さ、柔軟さ、速度、奔放さといったもの、論証の緻密さなどを、総合的に勘案して評価する。			
受講生へのコメント			
前期のみの特別演習。知的好奇心に満ちた学生を歓迎する。なお、本演習は、意欲ある2年生の参加にも開かれている（枠外単位。従って、履修可能最低年次が3年生以上であることと矛盾しない）。詳細は便覧を参照されたい。			
教材			
Edmund Husserl, Die Krisis der europäischen Wissenschaften und die transzendente Phänomenologie; ders., Cartesianische Meditationen またはその翻訳（邦語に限らず、受講生に可読の言語ならどれでも構わない）。			
その他			
履修可能最低年次			
3 年次生以上			